

特定非営利活動法人
日本健康太極拳協会
神奈川県支部
(楊名時^{八段錦}太極拳^{太極拳} 友好会)

浜太極

師家・楊名時先生 揮毫

〒232-0052 横浜市南区井土ヶ谷中町52

事務局 五十嵐輝康内 045-741-8975

発行人 神奈川県支部 支部長 五十嵐 輝康

第32号

2018年2月15日発行

年頭の御挨拶

神奈川県支部長 五十嵐 輝康



明けましておめでとうございます。

会員の皆様方にはご家族お揃いで新しい年をお迎えになったこととお慶びを申し上げます。

昨年中は、公私にわたり大変お世話になりました。お陰様で支部としての諸行事も皆様方の同心協力をいただき、滞りなく開催できましたことに感謝申し上げます。

今年は戊戌（つちのえいぬ）年です。「戌」とは茂と同義語で草木が繁茂して盛大となる状態を表し、「戌」は戌と同義語だそうです。

ということは、今年の運勢は木の上部の枝葉が繁りすぎ、根元に日が当たりにくくなり、木の生長に支障をきたすこととなります。余計な枝葉は剪定し、根元の日あたりを良くすることを心掛けよということだと、私なりに解釈するところです。私たちの“楊名時八段錦・太極拳”においても、故楊名時師家が植えられた「木」を大切に守るためにカリキュラムに沿った稽古を続け

ましょう。

初代支部長の故結城浩師範は、常に千利休の言葉を引用して、「茶の道は一より始めて十に至り、また一に戻る」、楊名時太極拳も同じ、基本動作を繰り返し繰り返し、一步一步理解しながら稽古を重ねていかねばならないと言っていました。

楊名時太極拳の「木」は樹齢50年になりまだまだ生長します。100年、1000年の大樹に育てるために、根元にタツプリと日が当るよう余計な枝葉を剪定しながら、「为了明天」希望を胸に明日に向かって、今日も稽古に励みましょう。

簡単ではございますが、年頭のご挨拶に代えさせていただきます。

